

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	52	事務事業名 (中事業名)		観光宣伝事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	04	中事業	00	担当課名	観光文化振興課
総合計画施策コード	113		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	西尾市をPRすることにより、観光客誘客を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内の旅行サービス業の他、農林水産業、食料品産業、小売業、宿泊業、飲食店業、運輸業など。
事業の概要 (具体的に何を)	西尾市の観光振興を図るため、ポスターやパンフレット等の広告物、首都圏をはじめとする市外イベントへの出展、他自治体との連携による事業展開等によりPRを展開。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	5,183,451円	3,593,430円	7,372,000円	
事業にかかる人工	0.50人	0.50人	0.50人	
事業にかかる人件費②	3,593,779円	3,633,226円	3,641,389円	
総事業費③(①+②)	8,777,230円	7,226,656円	11,013,389円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	8,777,230円	7,226,656円	11,013,389円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-1,550,574円	R2 総事業費③の対前年度比率	-17.67%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	コロナ禍で予定していた物産展が中止となったため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	印刷製本費	観光パンフレット「にしおりゾート」増刷	651,200円	
	負担金	竜の子街道広域観光推進協議会	1,000,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	観光入込客数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	3,700,000	人	3,700,000	人	3,700,000	人
	実績値	3,520,320	人	2,746,644	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	観光PR出展回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	30	回	30	回	30	回
	実績値④	31	回	0	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	283,136円	0円		*****			

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	事業が多岐にわたり、終了を見込めないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	4つのカテゴリで概ね適正と評価を得ていることから、この事業は継続実施することで問題ないと考える。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	現状の事業内容で効果を得ており、評価項目で分析しても妥当である。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間事業者又は市民協働でこの事業を実施するためには、事業費の増加が懸念。					
事業全体の課題	パンフレットやポスターなどの紙媒体でのプロモーションからデジタルで行う時代へ変わりつつあるため、宣伝素材をどう扱うかを見極め、効果的な観光宣伝を実施しなければならない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣のO市、G市においては本市以上に宣伝事業を実施している。
---------------	--------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	昨今のキャンプブームも手伝って休日の岡ノ山遊ほっ茶広場のバーベキュー場は、県外からもお客さんが来て大人気ですが、残念ながら午後5時までの利用で、宿泊(テント泊)はできません。宿泊可能な施設とすれば、宿泊客に特産品を売り込む事や、新たな需要が見込めるのではないのでしょうか？
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	令和2年度は、コロナ禍のため例年のような誘客が出来ずに入込客数が減少したが、コロナ禍が明けた暁には、県内外への観光プロモーションを実施し、磨き上げた観光コンテンツを含め、PRを実施したいと思う。キャンプブームということで市と観光協会とで連携し、無人島やこどもの国を利用した着地型観光商品を造成し、販売したいと思う。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	53	事務事業名 (中事業名)		特産品振興事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	06	中事業	00	担当課名	観光文化振興課
総合計画施策コード	121		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」といった西尾市の特産品を県内外へ広める。
事業の対象 (誰(何)のために)	特産品生産者・関連事業者
事業の概要 (具体的に何を)	「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」について、県内外の物産展等各種宣伝事業及び三河一色みなとまつりの開催を委託する。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	9,276,000円	2,643,500円	9,090,000円	
事業にかかる人工	0.50人	0.50人	0.50人	
事業にかかる人件費②	3,593,779円	3,633,226円	3,641,389円	
総事業費③(①+②)	12,869,779円	6,276,726円	12,731,389円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	12,869,779円	6,276,726円	12,731,389円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-6,593,053円	R2 総事業費③の対前年度比率	-51.23%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	コロナ禍で予定していた宣伝事業が中止となったため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	西尾の抹茶宣伝事業	2,034,527円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	東京での物産展における西尾市の認知度					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	45	%	45	%	45	%
	実績値	42	%	0	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	PR出展回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	30	回	30	回	30	回
	実績値④	31	回	0	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		415,154円	0円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	県内外の物産展等各種宣伝事業
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	特に定めていないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		◎
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			○	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		4つのカテゴリで概ね適正と評価を得ていることから、この事業は継続実施することで問題ないと考える。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	産地ならではの取組みとして実施する必要がある。市の特産物である産品をアピールする場所として有効だと考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市役所が事業として取り扱うことが消費者意識へ効果的に呼びかけることとなるため、市役所が実施するウエイトは大きい。					
事業全体の課題	ネームバリューの高い産地は、テレビCMを宣伝広告の媒体としている。メディアへの露出が効果的であるため、西尾市では広告宣伝費を支払わずにテレビ番組で西尾市の特産品が取り上げられるようプレスをしていると思うように取り上げてもらえない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	他の市においても同様に特産品振興の事業を行なっている。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	東京の物産展に参加するよりも、もっと近隣(名古屋駅とか東海三県内の大都市)の物産展の参加を増やした方が、西尾の特産品の購入につながるのでは。ネットが発達していても東京の人がわざわざ西尾に来ることは考えにくいので。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	東海三県では、「西尾の抹茶」・「三河一色産うなぎ」の認知度が上がっていると思われるが、首都圏での認知度はまだまだ低い。引き続き、首都圏での物産展を開催し、地道に西尾市の農水産物や特色あるイベント、観光特命大使の知名度を活用し、西尾市ファンを獲得したいと思う。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	54	事務事業名 (中事業名)		外国人観光客誘致戦略事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	10	中事業	00	担当課名	観光文化振興課
総合計画施策コード	113		事務開始年度	不明		備考			
根拠法令等	-		作成月	令和3年9月					

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	海外向けのPRや市内の案内看板等の整備を行い、訪日外国人観光客の誘客を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	外国人観光客
事業の概要 (具体的に何を)	海外(タイ)にて「西尾の抹茶」をはじめとした西尾の特産品や観光スポット等のプロモーションを実施。公衆無線LANの運用。多言語対応QRコード看板の作成・設置。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	3,376,129円	424,775円	3,325,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.10人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	726,645円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	4,813,641円	1,151,420円	4,781,556円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	4,813,641円	1,151,420円	4,781,556円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-3,662,221円	R2 総事業費③の対前年度比率	-76.08%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外(タイ)現地プロモーションの実施をとりやめたため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	通信運搬費	Wi-Fiサービス利用料	324,775円	
	負担金	レンタカーを活用した外国人観光客誘致促進事業	100,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	吉良温泉外国人宿泊者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	20,000	人	20,000	人	20,000	人
	実績値	18,428	人	2,443	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	海外向けPRイベント実施回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	1	回	1	回	1	回
	実績値④	1	回	0	回	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	4,813,641円	0円		*****			

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	海外プロモーション事業
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年
事業の終了時期が未定の場合の理由	特に定めていないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			○	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有効性	事業の目的は達成できているか		△	公平性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		西尾市として、海外での本市の知名度向上や外国人観光客誘客を図るうえで有効かつ必要であると考え、手法など改善の余地がある。				
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	現行どおり「西尾の抹茶」を中心としつつ、「佐久島」やその他特産品等など同時にPRするトピックを増やしていく。現地でのPRと並行して、市内の受け入れ態勢を整えていく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	引き続き市内の事業者や他市と連携を取りながらPRに取り組む。					
事業全体の課題	コロナ禍で現地でのPR・本市への招請が困難な中でも実施でき、かつ効果的なプロモーションは何かを見極める必要がある。外国人観光客受入に対する市内事業者参画の促進(理解を得ること)。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	他の市においても同様に外国人観光客誘客事業を行なっている。
---------------	-------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	ホームページやパンフレット等の多言語対応整備に伴い、訪日外国人がその情報に辿りつけるようウェブ上でのプロモーション(誘導のためのPR)や、多言語対応した体験プランの予約サイト整備などを実施できるよう努める。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	55	事務事業名 (中事業名)		海水浴場運営事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	11	中事業	00	担当課名	観光文化振興課
総合計画施策コード	111		事務開始年度	不明		備考			
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	宮崎海岸、恵比寿海岸、寺部海岸に海水浴場を開設し、観光振興を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	海水浴場利用者、海水浴場付近の宿泊等施設利用者の市内滞在
事業の概要 (具体的に何を)	海水浴場の開設及びイベント実施(7~8月)のための監視警備委託、海開き式の実施、海岸清掃、サメ網の設置等

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	16,476,285円	14,338,048円	19,557,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	17,913,797円	15,791,338円	21,013,556円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	1,428,000円
	市費	13,753,797円	3,775,338円	1,997,000円
	その他 ふるさと納税	4,160,000円	12,016,000円	17,588,556円
R2 総事業費③の対前年度差額	-2,122,459円	R2 総事業費③の対前年度比率	-11.85%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症拡大防止により海水浴場開設期間を短縮した結果、海水浴場監視業務委託費が減額したため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	海水浴場監視業務委託料(3か所)	7,147,800円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	海水浴場入込客数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	62,000	人	62,000	人	62,000	人
	実績値	57,050	人	74,840	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	イベント実施回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	14	回	14	回	14	回
	実績値④	14	回	0	回	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	1,279,557円	0円		*****			

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	温泉観光施設と一体となって夏の観光誘客を行っており、終了時期が明確でないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	全てのカテゴリにおいて概ね適正と評価を得ていることから、この事業は継続実施することで問題ないとする。					
事業の方向性	(評価)	6 その他				
	(理由)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行っている対策が、今後も有効かどうか見通しがつかないため、事業の方向性を定めることが難しい。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市役所が事業として取り扱うことが観光客へ効果的に呼びかけることとなるため、市役所が実施するウエイトは大きい。					
事業全体の課題	新型コロナウイルス感染症により、イベントでの誘客が困難であるため、海岸への誘客を図るには各種メディア・インターネット・SNS等を活用し、多角的にアプローチをしていくことが必要となる。また、Withコロナ時代を見据え、より一層感染症対策へ力を入れる必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	他の市においても同様に海水浴場運営の事業を行っている。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	海水浴場開設期間外の時間において、一部の利用客がマナーを守らずに騒音（スピーカーで大音量で音楽を流す・騒ぐ等）を出したり、禁止されているバーベキューを行ったりしている。夜間についても警備の人間を常駐する等、何か対策をとったほうがよいのではないか。（R3.7月 地元住民からの意見）
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	警察への見回り要請や指定管理者による注意喚起の実施等を行っている。今後は敷地内に禁止事項を記載した看板の増設等、利用客へのマナー・モラルの向上及びルール周知徹底を図る。
--------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	90	事務事業名 (中事業名)		西尾市美術展等開催事業 ()					
予算科目	10	05	05	大事業	05	中事業	00	担当課名	観光文化振興課
総合計画施策コード	341		事務開始年度		昭和47年		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	文化・芸術を通して、住みよい地域づくりと地域文化の進进行を図り、市民が様々な角度から、文化芸術に親しむことができる機会の提供を行うため。
事業の対象 (誰(何)のために)	市民
事業の概要 (具体的に何を)	西尾文化協会、いっしき文化のまつり実行委員会、はず文化祭・芸能祭実行委員会への委託業務。 ①西尾市美術展 市内外から作品を募集し、展示するとともに優秀作品を表彰する。 ②いっしき文化のまつり 作品展や芸能発表を行う。 ③はず文化祭・芸能祭 公民館フェスティバルと共催し、作品展や芸能発表を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	2,320,850円	150,435円	1,103,900円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	718,756円	726,645円	728,278円	
総事業費③(①+②)	3,039,606円	877,080円	1,832,178円	
総財源業内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,039,606円	877,080円	1,832,178円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-2,162,526円	R2 総事業費③の対前年度比率	-71.14%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止のため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	西尾市美術展運営委託	150,435円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	美術展等来場者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	9,000	人	9,000	人	2,000	人
	実績値	8,017	人	0	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	美術展等作品数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	2,200	作品	2,200	作品	400	作品
	実績値④	1,629	作品	0	作品	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	1,866円	0円	*****				

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	各地域での文化芸術活動
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	文化芸術振興を図るために継続する必要があるため		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	市民に広く文化芸術に触れる機会を提供できている。					
事業の方向性	(評価)	3 今後は、内容を見直して事業を縮小する				
	(理由)	令和3年度から委託先を3団体から1団体へ縮小のため				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	継続的に委託をしていく					
事業全体の課題	委託先である西尾文化協会が法人化し、西尾市全体の文化振興を担うが、旧3町との連携が不十分な状況である。市全体の美術展として市全体への周知方法や集客のための措置を講じる必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	文化協会などへ委託ではなく、自治体で実施しているところが多い。
---------------	---------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	西尾市全体の美術展として周知をはかっていく。紙媒体だけではなく、幅広い世代にPRできるように広報の仕方を検討していく。
--------	---